

## 4 2リモコンによる故障診断

故障箇所の一次診断としてリモコンの異常表示、および製品基板のサービスモニタLED表示により、診断ができます。

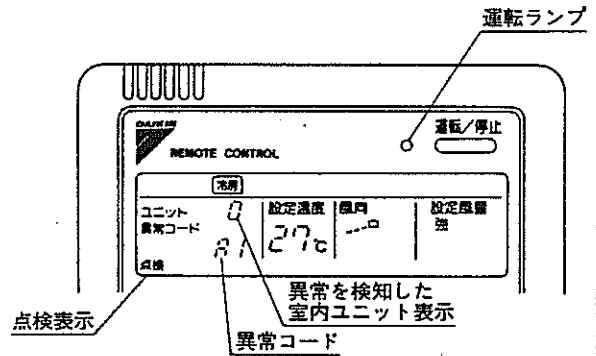
### ■ワイヤードリモコンによる故障診断

より適切なメンテナンスが行えるよう、リモコンスイッチに（自己診断機能）を搭載。運転中に異常が発生すると、運転ランプと異常コード、異常ユニット番号表示で異常箇所と内容を知らせます。

異常停止時は運転ランプと液晶表示部の「点検」表示および異常コードの表示の組合せによって前頁に示す異常内容が診断できます。またグループ制御時にはユニットNoを知ることができます。

注1. リモコンの点検/試運転ボタンを押すと「点検」表示が点滅します。

2. 「点検」モードで、運転・停止ボタンを5秒以上押し続けると、上記故障履歴表示が消えます。この場合、コード表示は異常コードが2回点滅後00（=正常）、ユニットNoは0となり、点検モードから自動的に通常モード（設定温度表示）へ移行します。



### ■ワイヤレスリモコンによる故障診断

異常停止時は室内ユニット表示部、または別置受光ユニットの運転ランプが点滅します。また、下記方法で見つけた異常コードにより次頁に示す診断ができます。

- ①点検/試運転ボタンを押すと、「点検」が表示され、ユニット番号表示「0」が点滅します。
- ②「すすむ」/「もどる」ボタンを押し、異常停止したユニットNoを見つけます。同時に「ピッ」という受信音が発生致します。

#### ●受信音の発生回数

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 3回の場合  | 下記③・④・⑤・⑥の操作を順に行なう |
| 1回の場合  | 下記③・④の操作を行なう       |
| 連続音の場合 | 異常ありません            |

- ③運転切換ボタンを押すと、異常コードの上位桁が点滅します。
- ④タイマ設定の「すすむ」/「もどる」ボタンを受信音が2回鳴るまで押し、上位コードを見つけます。
- 「すすむ」ボタン、「もどる」ボタンを押すことにより、上位桁のコードは下記のように移り変わっていきます。

0=A=C=E>H=F-U=L=P-U-9-8-7-6-5-4

⇒「すすむ」ボタン ←「もどる」ボタン

- ⑤運転切換ボタンを押すと、異常コードの下位桁が点滅します。
- ⑥タイマ設定の「すすむ」/「もどる」ボタンを受信音が連続して鳴るまで押し、下位コードを見つけます。
- 「すすむ」ボタン、「もどる」ボタンを押すことにより、下位桁のコードは下記のように移り変わっていきます。

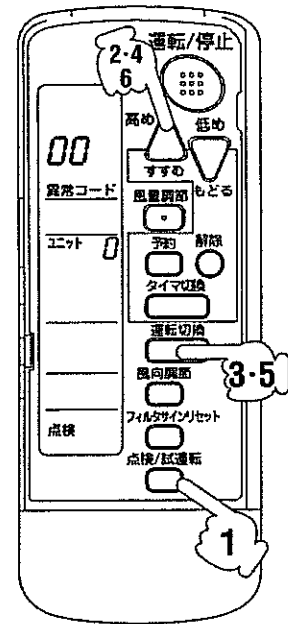
0=1-2-3-4-5-6-7-8-9-A-H=C-U=E-F

⇒「すすむ」ボタン ←「もどる」ボタン

#### ●受信音が連続して鳴ると異常コード確定です。

注1. リモコンの点検/試運転ボタンを押すと「点検」表示が点滅します。

注2. 「点検」モードで、運転・停止ボタンを5秒以上押し続けると、上記故障履歴表示が消えます。この場合、コード表示は異常コードが2回点滅後00（=正常）、ユニットNoは0となり、点検モードから自動的に通常モード（設定温度表示）へ移行します。



リモコンに表示される異常コードおよび故障内容については、前ページの〈サービスチェックポイント6〉を参照ください。